

議事概要記録

開催日時	令和7年4月12日(土) 13:00~15:00	開催場所	済生会和歌山病院 7階多目的ホール
会議種別	令和7年度 第1回理事会	議長	栗林 伴有
		書記	久保 光史
出席者 <敬称略>	参加：田中 規仁、神藤 洋次、栗林 伴有、大前 嘉良、丸澤 佳子、久保 光史、 秋田 豊和、山本 須美子、森下 陽子、中尾 光孝、山中 拓哉、 橋本 安貴子、葛原 和紀、稲葉 英佐、小山 明日美、竹中 正人、藤谷 泰明 計 17名		
欠席者 <敬称略>		オブザーバー	松下 裕、関根 敏勝、 竹家 正人、亀井 聡
次 第			
議事概要	<p>報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 会長報告 2. 日臨技報告 3. 常務理事会報告 4. 事務局報告 5. 学術部報告 6. 経理部報告 7. 各種委員会報告 <ol style="list-style-type: none"> ① 公益事業活動 ② 定款・渉外 ③ 災害対策委員会 ④ 精度管理 ⑤ 会誌編集 ⑥ ホームページ ⑦ 会報 ⑧ 月例行事予定表 8. タスク・シフトシェア指定講習会 9. 第43回和歌山県医学検査学会 10. 第44回和歌山県医学検査学会 11. その他 <ul style="list-style-type: none"> ・和臨技オリエンテーション ・ <p>審議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・精度管理事業 報告書査読期間の短縮について ・令和7年度定時総会議案書 		

報告事項

1. 会長報告

和臨技・日臨技・渉外関連について以下のとおり報告あり。

和臨技・日臨技関連

- 1月19日 タスクシフト研修会 ビッグ愛
1月24日 日臨技賀詞交歓会 都市センターホテル
2月23日 和歌山県医学検査学会 和歌山城ホール
2月24日 臨地実習指導者講習会ファシリテーター Web
(予)5月9-11日 第74回日本医学検査学会
(スキルアップ講師・特別企画座長2) 大阪市
(予)6月7日 令和7年度 和臨技総会
(予)6月28日 令和7年度 日臨技総会
(予)7月6日 臨地実習指導者講習会ファシリテーター(中四国支部) Web

渉外関連

- 1月18日 病院協会新春研修会 アバローム紀の国
2月4日 知事とメディカル・スタッフ団体及び病院協会長との懇談会
アバローム紀の国
2月11日 滋臨技創立70周年・法人40周年記念式典
クサツエストピアホテル
3月24日 令和6年度和歌山県災害医療対策会議 Web

その他

- 1月20日 日本臨床検査技師連盟 常任執行委員会(日技連) Web
1月24日 日臨技賀詞交歓会(日技連) 都市センターホテル
1月25日 令和7年日本臨床検査技師連盟執行委員会・勉強会(日技連)
都市センターホテル
3月17日 日本臨床検査技師連盟 常任執行委員会・勉強会(日技連)
Web
4月4日 日本臨床検査技師連盟 臨時常任執行委員会(日技連) Web
(予)4月21日 日本臨床検査技師連盟 常任執行委員会・勉強会
(日技連) Web
(予)5月27日 日本臨床検査技師連盟 常任執行委員会・勉強会
(日技連) Web

決議事項
及び
継続事項

・派遣行動報告書

第30回和歌山県病院協会学術大会 企画運営委員会（第1回）

令和7年2月14日 15時～

学会テーマ 「これからの医療 ～30年を振り返って～」

一般演題は5会場 82 演題、ポスター1会場 14 演題とした。

1 演題 6 分、質疑 3 分で組むことを確認した。

シンポジウムについては6団体となった（当会は、今回はなし）。

要望演題について、今回も募集しないこととした。

また原稿作成要綱やパワーポイント作成要綱については、例年通りで行うが、Web上で完結できるシステムを採用。

2. 日臨技報告

栗林副会長/日臨技理事より報告

1月25日 理事会（第6回）・理事研修会

都市センターホテル「オリオン」

●令和6年度 各賞表彰候補者選考結果

地域貢献賞

表彰規程（地域貢献賞の対象と選考基準）

第7条 地域貢献賞は、各支部において、長年に亘り臨床検査を通じて住民の健康保持、増進に寄与したと認められる者に対する表彰とする。表彰対象者は、表彰を受ける年の4月1日の時点において永年職務精励賞受賞者であって、各支部が推薦した者とする。ただし、選考時にこの会の理事及び理事経験者である者は除く。

近畿支部より

神藤 洋次（公立大学法人 和歌山県立医科大学附属病院）を推薦し承認を得る。

6月28日 日臨技令和7年度定時総会にて表彰

●令和7年度（2025年度）予算編成方針について

持続可能な会の運営を目指すための主な方針

1. 委員会およびWG等の会議体の現地開催を可能な限りWeb開催に変更し、旅費交通費や会場賃借料、諸謝金の削減を図る。また、理事会については、年6回開催のうち2回をWeb、3回を現地（日臨技会館）、1回を外部会場（賀詞交換会時）で開催する方向で予算を計上した。

2. 医学検査及びJAMTマガジンの発行形態を紙媒体からデジタルブックに変更し、令和8年1月号から医学検査はJ-stageとホームページ、JAMTマガジンはホームページに掲載することとする。これにより、令

和 7 年度においては 2,000 万円強の費用削減ができる見込みで、令和 8 年度以降は年間約 9,000 万円程度の費用削減を図る。

3. 令和 7 年度の人件費計画は、令和 6 年度の人件費計画の 2 億 1,900 万円とほぼ横ばいの 2 億 1,500 万円を計上した。常勤役員は今期同様の 3 名分を計上し、職員については、退職した 3 名と今期採用に至らなかった支部研修会事務処理担当 2 名の補充を計画した。

●検体採取講習会

令和 7 年度より検体採取講習会は年 1 回となる。

令和 7 年度開催は大阪予定

●「みんな知っている？臨床検査技師のしごと」YouTube 広告 実施概要
背景について、臨床検査技師の職業及び仕事内容について全国民に対し幅広く周知し、興味・関心を高め、若者における将来的な雇用増加に繋げていく事を目的として、全年齢層に対して認知率・利用率共に無料投稿・共有動画サービスの中では最も高い YouTube において CM 広告を実施。結果、予想を上回る広告視聴となった。

3 月 22 日 理事会（第 7 回）・理事研修会

ステーションコンファレンス川崎

●医学検査及び JAMT マガジンの発行形態を紙媒体からデジタルブックに変更し、令和 8 年 1 月号から医学検査は J-stage とホームページ、JAMT マガジンはホームページに掲載することとする。可決

●令和 7 年度事業計画

●都道府県臨床（衛生）検査技師会における災害に関する整備進捗状況の報告

●「教育協議会目標施設/臨地実習指導者講習会の修了者在籍状況」（2025 年 3 月 5 日現在）

●日臨技ロゴマークの商標登録について

その他

●横地会長 和臨技理事会参加日程および開催場所について

日程変更により継続審議お願いします。

技師が 5 人以下の小規模病院の意見もぜひ聞きたいとの要望有り。

3. 常務理事会報告

令和 6 年度第 7 回常務理事会（別紙参照）

① 『会誌和臨技』会長賞選出について

② 新理事候補者について

③ 次年度からの保健衛生・薬事衛生功労者知事表彰候補について

④ 総会および総会講演会について

- ⑤ 和臨技オリエンテーションについて
- ⑥ 次年度スケジュール確認
- ⑦ その他

令和7年度第1回常務理事会（別紙参照）

- ① 青年部について
- ② 定款・細則について
- ③ 理事役割分担
- ④ オリエンテーション
- ⑤ 総会議案書
- ⑥ その他

4. 事務局報告

- 3月17日 第30回和歌山県病院協会学術大会 演題募集について
和歌山県病院協会
- 3月19日 令和7年度和臨技オリエンテーション開催案内
和臨技
- 3月25日 「細胞検査士養成講座」後援名義
和歌山県細胞士会
- 3月26日 「リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2025 わかやま」
後援名義について
リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2025
わかやま実行委員会
- 4月7日 令和7年度和臨技賛助会員募集案内
和臨技

以上について報告。

その他

・第3回理事会日程の変更について

7月12日（土）→ 8月23日（土）へ変更

・和臨技会員異動、変更、退会手続きについて

現状、異動、変更、退会についてはHPより届出書をダウンロードの上、必要事項を記入して和臨技事務局まで発送する手続きであるが、これらの会員情報手続きについては、JAMTシステム上で処理され、変更等あれば事務局へメール通知が届く。そのため、届出書の必要性が低い
ためこの運用を廃止したいと考える。

→ 全会一致で承認。HP掲載内容を変更して会員へ周知する。

5. 学術部報告

大前学術部長より報告。

日臨技 生涯教育研修助成金申請 2025/4/12 (和歌山県)

	行事名	開催日時	行事形態	開催場所	生涯教育教科	生涯教育科目	参加登録数
1	第1回血液検査班研修会	2024/4/25	WEB開催	WEB	専門	検体検査	19
2	第1回生物化学分析班研修会	2024/5/14	WEB開催	WEB	専門	検体検査	37
3	第1回病理細胞班研修会	2024/5/21	WEB開催	WEB	専門	検体検査	33
4	令和6年度 第1回輸血検査班研修会	2024/6/19	WEB開催	WEB	専門	検体検査	25
5	第24回学術部一泊合同研修会	2024/6/22	現地開催	亀の井ホテル紀伊田辺	専門	検体検査	50
6	令和6年度 一般検査班 第1回研修会	2024/7/4	WEB開催	WEB	専門	生体検査	31
7	第1回生理検査班研修会	2024/7/13	WEB開催	WEB	専門	生体検査	36
8	令和6年度 第2回生理検査班研修会	2024/8/23	WEB開催	WEB	専門	生体検査	47
9	令和6年度 第2回微生物班研修会	2024/9/21	WEB開催	現地&WEBハイブリッド開催	専門	生体検査	31
10	令和6年度 一般検査班 第2回研修会	2024/11/9	現地	和歌山県立医科大学付属病院 中央検査部技師控室	専門	生体検査	18
11	第2回血液検査班研修会	2024/12/21	現地	和歌山県立医科大学付属病院 基礎教習棟	専門	検体検査	43
12	第2回病理細胞班研修会	2024/12/21	現地	和歌山県立医科大学付属病院 基礎教習棟	専門	検体検査	43
13	第1回総合管理班研修会	2025/1/16	WEB開催	WEB	基礎	基礎教養	21
14	第3回病理細胞班研修会	2025/1/18	現地	日本赤十字社和歌山医療セン ター101会議室	専門	検体検査	28
15	令和6年度 第3回血液検査班研修会	2025/1/23	WEB開催	WEB	専門	検体検査	27
16	令和6年度第3回生理検査班研修会	2025/2/2	現地	和歌山県立医科大学紀三井キャンパス生涯 研修センター研修室 (調査図書2階)	専門	生体検査	15
17	令和6年度(第37回)和歌山県臨床検査技師会 臨床検査精度管理調査報告会	2025/2/22	現地	和歌山城ホール4階大会議室	基礎	基礎教養	65

●日臨技生涯教育推進研修会助成

2024年度：合計17件 日臨技承認。(2025.4.12)

合計金額：793,500円

●表彰審査委員会答申報告

【会長賞】

紀南病院 中央臨床検査部 山本 真衣 技師

会誌和臨技第52巻 2025年3月

「輸血用血液製剤の外観確認を契機に細菌感染症を回避した一例」

【学術奨励賞】

新宮市立医療センター 中央検査部 南 熊野 技師

第43回和歌山県医学検査学会発表

「輸血が契機となり鉛中毒と診断された一症例」

【新人賞】

和歌山県立医科大学附属病院 中央検査部 齋木 恭 技師

第43回和歌山県医学検査学会発表

「当院における *Clostridioides difficile* 検査への NAAT 導入効果」

・第25回学術部一泊合同研修会の開催について

開催日：令和7年6月21日（土）、22日（日）

場所：亀の井ホテル紀伊田辺

症例検討：血液検査、生理機能検査

グループワーク：臨床検査×わくわくプロジェクト

『臨床検査技師キャリアはわくわくが一杯』（通称：りんわくボード）

講師 医療法人社団 永生会 永生総合研究所

神戸 翼 所長

今回の参加費の徴収について、電子決済での徴収運用としてPeatix（ピーティックス）を利用する予定。

6. 経理部報告

丸澤経理部長より報告

・令和6年度決算について

現在、決算書作成中。完成次第、監事へ監査依頼の予定。

7. 各種委員会報告

① 公益事業活動

橋本理事より令和7年度検査と健康展の会場について

今年度の開催に向けて昨年と同様のイオンモール内イオンホールの予約手配を行っていたが、年内既に別事業の予定があり利用できない旨が報告された。開催会場としては、集客の点からもイオンモールが良いと考えるため、イオンホール以外のフリースペースの利用についても検討する。その他の会場候補としては、フォルテワジマ等があるが集客の面で厳しいと考える。

→ メッサオークワや和歌山城ホール1階展示室などかどうか

② 定款・渉外

・派遣行動報告書

知事とメディカル・スタッフ団体及び病院協会長との懇談会

令和7年2月4日 16時30分～17時55時

テーマ：「人材確保における問題点と行政に期待すること」

現場の問題を中心に、人材確保の対応、要望、問題点等について意見交換

和歌山県臨床検査技師会より提出した意見

1. 人材確保に関して、各団体で感じている現場の問題点等

現在の養成学生は、大半の学生は地元に戻り、実家から通える職場を希望している傾向にある。その影響もあるのか和歌山県内では西牟婁、東牟婁地区に検査技師の応募があっても、なかなか応募者が集まらないのが現

状である。また、休日出勤や時間外労働が多い職場や賃金が安い職場は敬遠される傾向にある。

2. 人材確保への取り組みについて、実施されている事業など

近畿圏を主体する学会で、「臨床検査技師の未来」と題して、現役技師と検査技師養成学校生とで企画して交流を図っている。中高生をターゲットに検査と健康展を開催している。内容としては、臨床検査技師の紹介、各種の検査体験（顕微鏡、超音波検査、乳房模型触診）を実施。

3. 人材確保に関して、行政へ期待する事や要望等

病院もしくは企業と養成学校もしくは学生と、マッチアップができる仲介的なシステムを医療職種全体を対象としたものを構築して欲しい。現在、県内の医療職は募集を行っても応募が来ない状態の職種がある。そこで養成学校側にどれだけの就職希望者がいるか（既卒者も含めるような仕組みで）リアルタイムに把握できるシステムがあればありがたい。また就職する側も要望など書き込めると、お互いの求めているニーズが把握し易い。

4. その他、懇談会にて話題・情報提供される事柄

医療 DX に伴い、共通カルテの利用方法を和歌山県としてどういう活用を考えているのか？クラウド型 HER として、総務省モデルの青洲リンクや田辺保健医療圏での連携基盤（くろしお NET？）の進捗をご教示願いたい。

以上の要望を携えて会議で和歌山県へ要望を述べた。

和歌山県医務課長石田 定様より以下の回答があった。

人材確保に関して、行政へ期待する事や要望等でマッチアップができる仲介的なシステム構築については、初期費用、運用費用（メンテナンス費等）の捻出をどのするのかなど問題があり、当局としては各職能団体が行う事案かと考えると言う回答であった。次にその他、懇談会にて話題・情報提供される事柄で、医療 DX や青洲リンクについての回答があり、医療 DX の共通カルテについては各施設（クリニックも含め）が使用している電子カルテとの整合性もあるので、現段階で実証モデル地域が運用しているので、経緯を見守りたい。また、青洲リンクについては、マイナンバーカードとの紐づけの個人承諾件数は増加しているが、使用する施設が増えない。これは使用金額が高いため今後も増える要素はあまりないという回答があった。

和歌山県臨床検査技師会に対しての回答は以上であった。

③ 災害対策委員会

秋田理事より報告

令和6年度 ボランティア活動ができる技師の育成講習会の開催報告

日時：令和7年2月9日（日）13：00～17：00

場 所：済生会和歌山病院 7F 多目的ホール

【テーマ】

～あなたにもできる DVT（下肢深部静脈血栓症）検診活動～

【プログラム】

1. DVT 講義（松下 裕技師：和歌山県立医科大学附属病院）
2. D-ダイマー講義（岡 尚人：オーソ POCT マーケティンググループ）
3. 2 グループに分かれて DVT 実技・D-ダイマー実技
4. 弾性ストッキングの履き方・履かせ方ビデオ視聴および実技

【エコー実技講師】

原 幹也, 林 朱, 村山 阿木子（日本赤十字社和歌山医療センター）

関根 敏勝, 吉積 修平, 松下 裕（和歌山県立医科大学附属病院）

寺下 理恵（紀南病院）

【概要】

避難所等の現場では医療機関で日常的に実施している検査と異なり，災害医療現場で実施する検査法や診断の流れになるため，下肢静脈超音波検査（簡易タイプの装置にて実技），POCT（D-ダイマー検査），弾性ストッキングの履き方・履かせ方について学び，災害時に避難所での DVT 検診活動が行える知識と技術を備えた人材育成を行う。

④ 精度管理委員会

中尾理事より報告

●R6 年度事業進捗報告

2/22(土)精度管理報告会を開催した。参加人数は講師等含めて、65名であった。認定臨床化学免疫化学精度保証管理制度更新指定講習会参加証明を4名に対して発行した。

●R7 年度事業進捗報告

日程	内容
6/3 (火)	募集要項HPへ掲載
6/24 (火)	申し込み開始
7/10 (木)	申し込み期限
8/18 (月)	試料到着 (手引書・フォト集JAMTQCシステム公開)
8/18 (月)～8/29 (金)	調査期間
8/29 (金)	各施設からの結果入力期限
11/4 (火)	精度管理調査願ひ各施設発行+施設別報告書、総括統計JAMTQCシステムUP
11/18 (火)	精度管理調査願ひ回収期限
1/14 (水)	報告書公開 (JAMTQCシステム、和臨技HP)
1/31 (土) 和歌山県医学検査学会前日	精度管理報告会

・現在各部門のねらいの文書を確認中。今年度は新たに総合管理部門からのアンケート調査も予定しているため、そちらの内容についても掲載の予定。

●審議事項

和歌山県医学検査学会の開催日決定に合わせ、R7 年度スケジュールの前倒し調整を行った。各担当者の報告書執筆期間を3週間（例年6週～8週）に短縮することで、調整を行い、全分野担当者より了承取得済みであるが、報告書の理事会査読期間について12/19（木）～12/25（木）の1週間（R6は1/17～1/30の2週間）へ短縮する事をご承認頂きたい。

久保事務局長より

→今回和歌山学会日程調整に伴い精度管理調査事業のスケジュールを調整する結果となったが、精度管理調査報告の日程が学会日程に大きく左右される場合は、精度管理報告会の単独開催も必要ではないか。

現在の学会関連事業で開催するのであれば、次年度・次々年度の学会についても会場確保を事前に進める必要があるのでは。

田中会長

→精度管理報告会の開催については、参加者数等も含め学会関連事業としての開催が望ましいと考える。よって、次年度・次々年度の学会日程計画の準備は必要であると考えている。しかし、多くの会場は予約が早くても1年前であるため確約は難しいと考える。

神藤副会長

→その上、和歌山市内でも150名規模の会場確保が困難になりつつある。今後は費用が上がる可能性はあるが、ホテルなどの利用も考慮する必要があると考える。

⑤ 会誌編集

小山理事より報告

・第52巻「会誌和臨技」発刊について報告
発行部数：484部

⑥ ホームページ

山本理事より報告

メーリングリストの廃止、JAMT システムメーリングリストへの移行について

→予定通り 2025年3月31日を持って終了。

HPについても、記載内容削除済み。

会員より、メーリングリストについて問い合わせがあり、JAMT 会員専用ページでのメールアドレス登録について説明。

⑦ 会報

葛原理事より報告

新たな会報について、現在作成中。4月中には理事へ確認依頼の予定。

⑧ 月例行事予定表

稲葉理事 特記事項無し。

8. タスク・シフトシェア指定講習会

森下理事より報告

●第6回目（和歌山市）

- ・開催日 2025年1月19日（日）8：50～16：30
- ・場所 ビッグ愛 12F 会議室
- ・講師 自治医科大学 味村俊樹先生
和医大附属病院 山本美子先生・雑賀祐子先生
- ・受講者 和歌山県：35名、大阪府：19名、
京都府：3名、滋賀県：2名、奈良県：1名

★ 欠席者なく、無事に終了しました

★ 次回開催計画、予定なし

★ 講習会用に購入し現在余っている消耗品のうち、経年劣化しそうなニトリル手袋（S/M/L およそ各200枚ずつ）、使用期限が切れそうな手指消毒用アルコール（3本）、除菌シート（5個ぐらい）は和臨技の行事で使用する機会があれば消費して頂くことになりました。

すでに手指消毒用アルコールは第 43 回和学会に譲り消費いたしました。

受講状況（和臨技会員 427 名：2025/3/20 現在） 日臨技 HP より抜粋

確認日	指定講習会 修了者 (和臨技会員)	実技講習会 受講者 (※1)	事前基礎研修 履修済み (※2)	事前基礎研修 受講中 (※2)	基礎研修申請 なし (未受講者)
2022年6月26日 (第1回開催)	8名	54名			
2022年10月30日 (第2回開催)	62名	49名			
2023年4月9日 (第3回開催)	112名	52名			
2023年12月10日 (第4回開催)	166名	60名			
2024年5月19日 (第5回開催)	272名	55名			
2025年1月19日 (第6回開催)	307名	60名			
2025年3月20日	308名		14名	31名	109名

(※1：県外受講者、受講後退会者、非会員等含む ※2：県内非会員含む)

修了率 72.1%

9. 第 43 回和歌山県医学検査学会

森下実行委員長より報告

【概要】

- ・学会参加者数 143 名（実行委員、実務委員含む）
- ・特別講演（1 題）
和歌山県警察本部 警備部 警備企画 課
「サイバー 攻撃対策について」
- ・演題発表（17 題）
- ・企業プレゼンテーション 5 社
- ・ランチョンセミナー 1 題
- ・意見交換会 参加者 94 名（会員 57 名、賛助会員 37 名）

10. その他

山本理事より報告

- ・派遣行動報告書

令和6年度和歌山県衛生検査所立入検査

派遣日時：令和7年3月12日～13日

◆3月12日 10：00～(株)メディック和歌山

13：30～(株)大阪血清微生物研究所 田辺支社

◆3月13日 10：00～(株)日本医学臨床検査研究所 新宮ラボ

上記の日程で、精度管理専門委員として県庁・医務課、管轄保健所の担当者に同行した。
検査当日は1施設約2時間程度で、書類審査、施設巡視、講評を行った。
また事前に準備しておいた試料を用いて、生化学的検査とHbA1cを3重測定してもらった。データはその場で県医務課の担当者に提出。
和歌山市の衛生検査所分のデータが揃い次第、集計し県医務課の担当者に提出する予定。

※配布試料

生化学的検査(凍結品) : QAP トロール 1X 2X

HbA1c(凍結乾燥品) : グリコ Hb コントロール レベル I II

審議事項

●精度管理報告書査読期間の短縮について

和歌山県医学検査学会の開催日決定に合わせ、R7年度スケジュールの前倒し調整を行った。各担当者の報告書執筆期間を3週間(例年6週~8週)に短縮することで、調整を行い、全分野担当者より了承取得済みであるが、報告書の理事会査読期間について12/19(木)~12/25(木)の1週間(R6は1/17~1/30の2週間)へ短縮する事をご承認頂きたい。
→承認された。

●令和7年度定時総会議案書作成について

誤字、脱字を含め紙面内容を確認。
修正版を事務局より後日再送することで一致。

記録作成	令和7年4月13日	氏名	久保 光史	提出	令和7年4月13日
------	-----------	----	-------	----	-----------

※ 諮問委員会で「報告書」が提出される場合、「委員会議事録」が別途作成添付される場合は添付資料で可